

(2021. 9. 16)

2 学期始業式

9月1日(水)、2学期のスタート、各学級に分かれてオンライン放送による始業式を行いました。新型コロナウイルス感染症対応のステージが非常事態で、感染症対策を徹底する中での2学期の始まりでしたが、久しぶりに学校が子どもたちの元気な声でいっぱいになりました。2学期始業式で学校長が話した内容を掲載します。

令和3年度 2学期始業式

おはようございます。

皆さんにとって夏休みはどうでしたか。

夏休みに入って、水泳の強化練習に参加した人、加力学習に参加した人、1学期の終業式で紹介した「不可能の反対は可能ではない。挑戦だ」を夏休み中にさっそく実行してくれました。この頑張りは、きっと2学期の取組をより良くし、「わかること」「できること」を増やすことに繋がると思います。

今年の夏休みには、東京オリンピック、パラリンピックがありました。たくさんの感動をもらいました。どの国の選手もそれぞれの国の代表として一生懸命競技している姿は、大変感動的でした。みんなが金銀銅のメダルがもらえるわけではありません。みんなが満足できる結果が出るわけではありません。なぜ、ここまで心を打つのか、それはきっとこれまで苦しくてもあきらめずに積み上げてきた、たくさんの挑戦と努力があるからだと思います。「不可能の反対は可能ではない。挑戦だ」、2学期も色々なことに挑戦して「わかること」「できること」を増やしてください。

さて、今年の夏休みは長雨が続いたものの台風の影響はほとんどなかったですが、高知県は新型コロナウイルスの感染者増え続けていることや、いつやってくるか分からない南海大地震の心配があります。災害が一度起きると、テレビやラジオ、周りの人の話からも災害についての情報がひっきりなしに伝えられています。

そのような情報をもとに皆さんは、どうすればいいでしょう。

「自分の命は自分で守る」とよく言われますが、危険から自分を守るためには、色々な情報から自分がどうすればよいか、しっかり考えることができる力を身につけておくことが必要です。

今年の梅雨の時期に起きた土砂災害では、多くの命が失われました。そんな中でも、大雨が降って、臭いや音、流れる水の色、山に向かって吠える犬の様子など、周りから得た色々な情報から考えて、逃げて助かった人もいます。

皆さんは、学校を中心に多くのことを学んでいきます。その時に学んで多くのことを知っているだけではなく、学んだこと、知っていることを基にして、自分の考えを持つこと、つまり自分の持っている知識や経験を使ってしっかり考えるようになってほしいと思います。そのことが危険から身を守ることににもなるし、より良く生活することになります。

今日から2学期が始まります。日々の勉強や色々な活動を頑張るのはもちろんですが、ぜひ、勉強や体験を通して学んだことや知ったことを基に、自分の考えをしっかり持つことに取り組んでほしいと思います。

どの教科の勉強でも「僕は、私は、このような理由でこうだと思います。」と言ったり書いたりできるようになりましょう。

皆さんが2学期の終わりには、自分から進んで自分の考えを持って言ったり書いたりできるようになっているのを楽しみにしています。

頑張りましょう。